



地域活動支援センター
こまつがわ

精神障害者居住支援事業
(江戸川区委託)

ボーダレスって、こういうこと



「生きる基盤づくり」お家探しをお手伝いします！

4月から居住支援事業を担当することになりました、坂本です。よろしくお願いいたします。

以前は矯正施設で、出所後に戻る家がない高齢者や障害者を地域につなげる居住支援の仕事に携っていました。その時、高齢または障害のある方に対して、理解のある不動産業者を見つけることが難しく、なかなか家を借りられないことも多々ありました。

センターこまつがわの居住支援事業では、この法人がグループホームから始まったということもあり、今まで作り上げてきたネットワークとノウハウから、すでに不動産と連携の土台が築かれていて、大変心強く感じています。地域の大家さんの中には、障害に対する社会的なイメージや情報の少なさから、火災・水漏れ等の事故は大丈夫か、近隣とのトラブルは起きないか、家賃をきちんと払い続けられるのか、緊急時に連絡がとれるのか、などの心配や不安などを口にされる方もいます。

そういった大家さんの声は、地域への障害に対する啓発の必要性を明らかにするもので、私たちは居住支援を通して、地域への啓発活動ができないかと考えます。

大家さんには、その方の生きづらさをお伝えするだけでなく、どのようなお手伝いがあれば暮らせるか、どのような支援を利用して生活をしているのかなど、分かりやすく丁寧にお伝えして、その方と大家さんとの相互理解を深め、お互いが安心して暮らせるようにサポートしていきたいと思えます。

近年、国は障害者や高齢者、低額所得者等、住宅の確保に特に配慮を要する「住宅確保要配慮者」への居住支援を後押しし、地方公共団体や不動産関係業者、居住支援団体等が連携することが必要という指針を出しています。

誰にとっても、住まいは生きていく基盤です。

「障害がある」という理由で入居を拒まれない社会、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して、他関係機関と連携しながら、日々取り組んでいきたいと思えます。